

航空機第四〇

九月十八日提出



航空事故調査書

昭和七年九月十日
館山海軍航空隊司令

日	時	候	天	場	機	機體		機體	發動機	塔乗者		事故概要	損傷程度	原	記																
						製造番號	製造年月			官職氏名	官職氏名																				
昭七	九	月	六	日	午後	一時	四十一分	曇驟雨	潮岬灯台南西一〇〇〇米海上	一式二號艦上攻撃機二型	三菱第一三號	昭和四年七月二十九日	良好	四九五時間三〇分	二九七時間一〇分	七式四五〇馬力發動機	第五〇二四號	五年二月八日	良好	三七三時間三〇分	二九七時間一〇分	海軍大尉 常陸武	海軍航空兵曹 高橋徳治	海軍航空兵曹 中下武雄	艦隊聯合演習参加	海軍航空兵曹 高橋徳治	海軍航空兵曹 中下武雄	損傷ナシ	潮流及濁流激シシタメ機體發動機沈没	午前八時命令ニ依リ演習開始ト同時ニ三号ヲ乗機行場發潮岬ニ向ヒシテ 津内ト向風ニ妨ケテ定速少キヲ以テ主力決戦ニ向ヒ合ハスヲ回航ヲ增加シ 潮岬着燃料補給ト上敵主力攻撃ニ向ヒシテ依然回航ヲ増加シタルメ 潤滑油消費量大トナリ總飛行時間七時十五分ニテ潤滑油缺乏セリ 使用時數相當大ナル發動機ニ在リテハ必制回航ニホテテ潤滑油 消費量ニ増大シ米スルヲ以テ注意ヲ要ス	ナシ

航空機第 四 號

ノ 九

九月 廿 日 長 日

航空事故調書

昭和七年九月六日
館山海軍航空隊司令

記 事	原 因	損傷ノ程度	事故ノ概要	航空ノ目的	塔 乗 者		機 動 機		機 體 (機 體 氣 球)	場 所	天 候	日 時
					同 乗 者	操 縦 者	使用時数	製造年及製造年月日				
ナシ	飛行場ノ完備ヲ要ス	塔乗者 損傷ナシ 航空機 方向舵昇降舵フロベラー損傷	演習終了後潮岬飛行場ニ着陸マントセシメ前続三機飛行場中央附近ニ着陸後地盤悪キタメ地面ニ入り込ミタル儘停止シ着陸ニ障害ヲナシタルヲ以テシテ避ケテ飛行場南方側ニ着陸セシニ兩車輪地面ニメリ込ミ転覆セリ	艦隊聯合演習参加	海軍中尉 松田秀雄	海軍等航空兵曹 松村鶴治	海軍等航空兵曹 風間五重	第五〇六九號 昭和四年三月四日	第一三式二號艦上攻撃機二型	潮岬飛行場	曇 驟雨	昭和七年九月六日午後一時四十五分

軍務局

九月廿九日

機動		發		体		機		日	
使用時数	製造	製造番號	製造年月日	使用時数	製造	製造番號	製造年月日	時	象
分解更換後	製造後	製造番號	昭和七年三月二十八日	分解更換後	製造後	製造番號	昭和七年三月二十八日	九月十八日	晴
二五時一分	二五時一分			二五時一分	二五時一分			七四五	風力。米波浪稍高。カキリアリ
									度五八五哩

航空事故調査

調査課

副官

軍艦迅速

九月廿九日

九月十九日提出

艦訊

九月廿九日

7.9.19

9.30

機	乗者	同官職氏名	事故発生前状況	機	航空機	航空機	損傷程度	原	将来ニ關スル意見	記
六三〇(機体) 六三二(燃料)	良徳	海軍少佐	海軍少佐	大破	異状	大破	高水噴	原因	将来ニ關スル意見	事
六三〇(機体) 六三二(燃料)	良徳	海軍少佐	海軍少佐	大破	異状	大破	高水噴	原因	将来ニ關スル意見	事

九平号

軍務局

航空機密第五号

九月三十一日提出

航空

航空事故調書

昭和七年九月十九日

大村海軍航空隊司令

昭和七年九月六日

曇時々驟雨

潮岬飛行基地

一三式二號艦上攻撃機二型

良好但離陸時右車輪ハニシタルト思ハ

廣航二七、昭和七年一月十五日

一二二一〇五

一八一二五

七式四五〇馬力

三菱五〇一七五 昭和六年一月

良好

一五二一四五

一八一五五

海軍大尉 三代辰寛

昭和三年五月二十九日 飛行時... 昭和四年三月五日

搭	機	動	度	體		機	場	天	候	所	名	事故	製造	番	號	及	製造	年	月	日	使用	時	數	製造	後	分	解	矣	檢	後	使用	時	數	機	動	度	搭
				名	稱																																

縦	機	動	度	體	機	場	天	候	所	名	事故	製造	番	號	及	製造	年	月	日	使用	時	數	製造	後	分	解	矣	檢	後	使用	時	數	機	動	度	搭		
官	職	氏	名	海軍大尉	三代辰寛			曇時々驟雨	潮岬飛行基地	一三式二號艦上攻撃機二型	良好但離陸時右車輪ハニシタルト思ハ	廣航二七	昭和七年	一月	十五日	一二二一〇五	一八一二五	七式四五〇馬力	三菱五〇一七五	昭和六年	一月		良好	一五二一四五	一八一五五													

9. 30 軍務局

7. 9. 24 機務

乗者	乗者	事故発生前状況	航空概要	事故概要	損傷ノ程度		原	将来ニ関スル意見	記
					搭乗者	航空機			
		昭和七年三月五日、現在、大空介隊長 搭乗時数艦政三九六、一五〇、総計六八、一〇〇					因		
		並普通							
		偵察者海軍中尉小林哲雄搭乗時数艦政一、九、五、一〇							
		電信員海軍一等兵常呂曾高島延一搭乗時数艦政五五、一、二〇							
		艦隊聯合基本演習ニ参加シ敵主力爆撃ヲ返撃							
		故障セルニ着ルノ状見ヲ知ラシガ為大坂基地ヘノ取途潮岬 ニ着陸セル折右車輪パンクノ為右ニ旋サシ左翼ヲノバ 尾節ヲ歪曲セリ							
		異状ナシ							
		左下翼歪曲同後方支柱折曲ニ尾節後端及尾翼歪曲、両 車輪パンクニ尾節折損							
		地面不良ノ為着陸時右車輪パンクニ居タルニ氣付カズ 普通通着陸セルニ昇傾斜ニシテ三度ニテ地面軟カナリ ントノ為左車輪抵抗多ク遂ニタイヤ外レ轂ヲ以テ地 面ヲ穿極ニ墮陸セハ折作ヲ傾ケ破損挫曲ヲ来セリ							
		飛行場ヲ作ル際ハ航空ノ知識アル者ヲシテ監督セ シムルヲ西女ス潮岬ニ飛行場ニ技手ノ監督ニナリ ト聞ケリ							

(備考)

一、本調書ハ飛行作業中ニ生起シタル航空機大破、人員ノ死傷其他重大ナル事項ニツキ調製スルモノトス
 二、空中衝突、墜落其他事態重大ニシテ事後詳報ヲ要スルモノアリテハ其ノ摘要ノミヲ記載シ記事欄ニ其ノ旨記註スルモノトス

記 事	將 來 ニ 關 ス ル 意 見	原 因	損傷ノ程度		事 故 ノ 概 要	航 空 ノ 目 的	者
			搭 乗 者	航 空 機			
			損傷ナシ	機体大破使用ニ耐エズ	基本攻撃ヲ終了右着陸ニ際シ 車輪大破ノタメ	空中戦闘基本攻撃訓練	
		操縦上、誤リニシテ落下着陸ニヨル					

1507

軍務局

十月十日

横空機密第一八八号

事故調書

昭和七年九月二十四日

横須賀海軍航空隊司令

九月十四日提出

官房受
拾月拾壹日

搭乗者			發動機			機體			場	天	日
乘同者	官職氏名	事故發生前ノ狀況	機體	製造番號及製造年月日	事故發生前ノ狀況	使用時數	製造後	分解點檢後	名	稱	候
常			海軍中尉	舟木忠夫	良好	九時間四十五分	二時間三十五分		壽發動機二型		昭和七年九月二十四日
			三式艦上戰鬥機 (三三七五五)	九〇式艦上戰鬥機 (三三三〇)	良好	一時間七分			中島第二号		昭和七年三月二十四日
			其他 (三三二一〇)	合計 (五四三三五)					羽田東京飛行場		曇、風向北、風力二
									九〇式艦上戰鬥機		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
									中島第四八号		
									中島第一号		
				</							

記 事	將 來 ニ 關 ス ル 意 見	原 因	損傷ノ程度		事 故 ノ 概 要	航 空 ノ 目 的	者
			搭 乗 者	航 空 機			
		着陸場調査不充分	無	機体大破、發動機再調后使用可能、見込	羽田飛行場上空ニ到着后着陸之際ニ布板信号ヲ誤認シ粗悪ナル地面ニ降着直ケニ上頼覆大破	報國号命名式、タム空中輸送	

(備考)

- 一、本調査ハ飛行作業中ニ生起シタル航空機大破、人員ノ死傷其他重大ナル事項ニツキ調製スルモノトス
- 二、空中衝突、墜落其他事態重大ニシテ事後詳報ヲ要スルモノアリテハ其ノ摘要ノミヲ記載シ記事欄ニ其ノ旨記註スルモノトス

軍務局

工月

海軍省

五號ノ九

昭和 年 月 日

11. 7 軍務

記事	将来ニ關スル意見	原因	損傷ノ程度		事故ノ概要	航空ノ目的	搭乗者			機動		機體		天候	日時	場所	
			搭乗者	航空機			官職氏名	経験	製造後	使用時數	製造後	使用時數					
													事故發生前ノ狀況				官職氏名
			同乗者 右眼下僅ニ裂傷	搭乗者 右眼下僅ニ裂傷	第1期飛行學生第百場外飛行(霞浦明野間復航)		第1期飛行學生	海軍中尉	石 俊平	昭和六年十一月十八日	三〇五七五號	昭和四年十一月二十三日	三〇五七五號	昭和四年十一月二十三日	霞浦明野間	風力三米秒	九月十九日午後零時四十分
			同乗者 右眼下僅ニ裂傷	搭乗者 右眼下僅ニ裂傷	第1期飛行學生第百場外飛行(霞浦明野間復航)		第1期飛行學生	海軍中尉	清水孝徳	昭和六年十一月十八日	三〇五七五號	昭和四年十一月二十三日	三〇五七五號	昭和四年十一月二十三日	霞浦明野間	風力三米秒	九月十九日午後零時四十分

(備考)

- 一、本調査ハ飛行作業中ニ生起シタル航空機大破、人員ノ死傷其他重大ナル事故ニツキ調査スルモノトス
- 二、空中衝突、墜落其他事態重大ニシテ事後詳報ヲ要スルモノアリテハ其ノ摘要ノミヲ記載シ記事欄ニ其ノ旨記註スルモノトス

十一月

航空事故調書

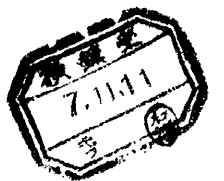
昭和七年十一月四日
横須賀海軍航空隊司令

司令長官
横空機
別紙

参謀長
官房

提出

官房



1.22
琴務

乗客			搭乗		機動		發		機體		場		天候		日														
乗	同	者	縦	操	使用時數	製造後	分解點檢後	事故發生前ノ狀況	製造番號及製造年月日	名	使用時數	製造後	分解點檢後	事故發生前ノ狀況	製造番號及製造年月日	名	場所	候	氣	象	時								
																						官職氏名	官職氏名	官職氏名	官職氏名	官職氏名	官職氏名	官職氏名	官職氏名
十三					二十六時間五分			常	四百六十馬力	壽(三型)	十九時間二十分			常	島第八號	昭七	島	西	北	北	西	風速七米	昭七	年	十一月	二日	午前	十一時	四十五分
<p>海軍一等航空兵 藤長助 昭和七年三月二日操縦練習生卒業 操縦時數三百四十分(數關機飛行時數百三十分)</p> <p>島式艦上戦闘機(報國之志者學生機)</p> <p>第一分隊點檢後</p>																													

記 事	將 來 ニ 關 ス ル 意 見	原 因	損 傷 ノ 程 度		事 故 ノ 概 要	航 空 ノ 目 的	者
			航 空 機	搭 乗 者			
<p>地上の射撃</p> <p>地上の射撃ヲ了シ着陸セシタル見當不良ニ備テ バイシヨク以外ノ着陸再行ヲ次シテ発動機ノバイ ルニ管制ヲ精荒キマシタリト云フ。又、機ノ断念 シテ旋回ヲナシタル前方ニ余カチテ、機ノ ニ突當リ脚折損シ續キ岩壁上ニ墜落シ破セリ。</p>	<p>一、壽發動機機現狀ニ於テ八尚微速回転狀况良好ト特 一、機ノ回転速力ノ變イテ夜ナリコト莫ク、機ノ整備 論氣化器ノ構造ニ對シテ尚一層眞剣ナル研究車アリト認 二、着陸時ノ操作困難前ノ視界不良ニ基テ因ニ事故防 止スルニハパイレーキハ充分利キノ良ヤセシメサル可 現用九ノ式戰機機ノパイレーキハ操作不便且其ノ利キ 悪ク、機上ノパイレーキトシテ之ニ過言ナキ程度ニ速 改良ヲ要ス</p>	<p>一、壽發動機機現狀ニ於テ八尚微速回転狀况良好ト特 一、機ノ回転速力ノ變イテ夜ナリコト莫ク、機ノ整備 論氣化器ノ構造ニ對シテ尚一層眞剣ナル研究車アリト認 二、着陸時ノ操作困難前ノ視界不良ニ基テ因ニ事故防 止スルニハパイレーキハ充分利キノ良ヤセシメサル可 現用九ノ式戰機機ノパイレーキハ操作不便且其ノ利キ 悪ク、機上ノパイレーキトシテ之ニ過言ナキ程度ニ速 改良ヲ要ス</p>	<p>發動機及パイレーキ破機体中破</p> <p>一、技術不熟</p> <p>二、壽發動機及パイレーキノ不良</p>	<p>ナシ</p>	<p>地上の射撃</p>	<p>地上の射撃</p>	<p>者</p>

(備考)

- 一、本調査ハ飛行作業中ニ生起シタル航空機大破、人員ノ死傷其他重大ナル事項ニツキ調製スルモノトス
- 二、空中衝突、墜落其他事態重大ニシテ事後詳報ヲ要スルモノアリテハ其ノ摘要ノミヲ記載シ記事欄ニ其ノ旨記註スルモノトス

加賀

一月

加賀

航空事故調書

十一月三日

十一月九日經由

軍官

加賀

二日檢査



11.17 年 第 第

日 時 昭和七年十月二十八日午後五時半

天 候 曇 風向 NE 風力 一米

場 進達 和歌山縣潮岬飛行場西端

機 名 三式艦上戦闘機

機 體 製造年月日 中島第八四號 昭和七年二月十二日

機 體 (船又氣) 事故發生前狀況 有眼

使用 時間 製造後 一六時三五分

分 解 點 檢 後

名 稱 シュピター 四百二十馬力

製造番號及製造年月日 中島第一二九號 昭和五年六月三日

事故發生前狀況 良

使用 時間 製造後 九。時二五分

分 解 點 檢 後 十六時五。分

昭和二年九月三十日 式 第 一 号

海軍省

十二月

1515

司令長官 航空機第一 號 一三

故 訓書官 昭和七年十一月二十九日



官房 十二月三日提出 5.12.-5 接受

者	搭乗者		機	動	奔	機	天	日	時	候	場所	製造場所年月日	製造番号	使用一時数	使用時数	官職氏名	経歴	性	事故発生前状況	官職氏名	搭乗者		
	偵察	者																					
	官職氏名																					搭乗者ナシ	
																							繋留中ニシテ発動機ヲ使用セス

12. 9 軍務

者	原	事故、概要	損傷、程度	原因	将来ニ対スル意見	其、他	
		<p>当日、朝来、風雨ニテ揚収困難ナリ依ッテ浮力止ヲ装着シ 従来副繫留柱並ニ曳航索ニ本(平)吋鋼索ニテ繫留セ ルヲ更ニ主繫留柱ヲ使用シテ、鋼索一本ヲ増加シ、油 泊ヲ更ニ曳セリ午後七時頃風速二十ノ米秒附近ニ達シ、 接困難トナリタルヲ以テ終夜見張員二名宛ヨ配セリ爾右風速 多ク増減セルモ次第ニ風雨強烈トナリ午後十一時五分主 繫留柱ハ風圧、爲今取付部ヲ破損シ脱落セリ次ヲ副 繫留柱取付部破損シ又航索切斷シテ航浮標ヲ離衣シ 当隊東岸希嶺海岸ニ漂流棚座ヲ依ラ今岸ニ航浮標ヲ抑止シ天 兵、復待ヲ午後四時過見航繫留セリ</p>	<p>両翼並ニ尾翼破損使用不能航体一部損傷セルモ使用可能 冷却器一部損傷使用可能発動機分解手入後使用可能 突風三十七米秒八ニ対シ航首主繫留柱取付部 破損</p>	<p>突風三十七米秒八ニ対シ航首主繫留柱取付部 破損</p>	<p>突風三十七米秒八ニ対シ航首主繫留柱取付部 破損</p>	<p>突風三十七米秒八ニ対シ航首主繫留柱取付部 破損</p>	<p>突風三十七米秒八ニ対シ航首主繫留柱取付部 破損</p>

事	原因	損害程度		概要	機要	乗客		事故発生前状況
		搭乗者	航空機			乗客	乗客	
北月面系、特種飛行ハ獨一層演練セシムル事アリ	頂点ニ於テ発動機ヲ停止セシメタルニ起因ス	中破損 可ロロ巨毀損	無事	標縦訓練飛行	前記地点上空ニ於テ標縦訓練飛行中発動機停止ニ飛行端不達故ヲ以テ同地点ニ不時着水ス	異常ナシ	一式艦載機 一四一三〇	

1519

五月十七



搭乗者		機動		發		體		場		天		日	
官職氏名	事故發生前ノ狀況	官職氏名	經歷 (操縦ニ關スルモノ)	使用時數	製造後	事故發生前ノ狀況	製造後	使用時數	製造後	製造番號及製造年月日	名稱	使用時數	製造後
	良好		高卒海軍大尉清水	七六一四五		良好		四二一〇〇		一式四五〇馬力	昭和三十五年七月五日		
	良好		高卒海軍大尉清水	七六一四五		良好		四二一〇〇		一式四五〇馬力	昭和三十五年七月五日		
	良好		高卒海軍大尉清水	七六一四五		良好		四二一〇〇		一式四五〇馬力	昭和三十五年七月五日		
	良好		高卒海軍大尉清水	七六一四五		良好		四二一〇〇		一式四五〇馬力	昭和三十五年七月五日		

航空事故調査報告書
 機密
 参謀長
 昭和七年七月五日提出
 横須賀海軍航空隊司令

7.12.26

1.6

記 事	将来ニ關スル意見	原 因	損傷ノ程度		事故ノ概要	航空ノ目的	者
			搭乗者	航空機			
ナシ	ナシ	<p>吳龍機ニ対スル損傷大甚(機体構造上至極重大)</p> <p>ナシ</p>	ナシ	ナシ	<p>津波引込(幸田引込) (幸田引込)</p> <p>津波引込(幸田引込) (幸田引込)</p>		

(備考)

- 一、本調査ハ飛行作業中ニ生起シタル航空機大破、人員ノ死傷其他重大ナル事項ニツキ調製スルモノトス
- 二、空中衝突、墜落其他事態重大ニシテ事後詳報ヲ要スルモノアリテハ其ノ摘要ノミヲ記載シ記事欄ニ其ノ旨記註スルモノトス

海軍省

五月二十一日

1521

軍務司

搭乗者		機動		機體		場	天候	日
乗同	者	機	動	機	體	場	天	日
官職氏名	経歴	製造番号及製造年月日	事故発生前ノ状況	使用時數	製造後	製造番号及製造年月日	事故発生前ノ状況	使用時數
ナシ	海軍二等航空兵曹 加藤敬次郎 昭和二年五月二十日 飛行練習生終了 總飛行時數二九三時一五分 (内最半機四四六時一三分)	三島七号 昭和七年一月二十日	異常ナシ	五二時一四〇分	續三型 航空用發動機	九〇式艦上戦闘機	中島第十號 昭和七年三月七日	三四時一三〇分
ナシ	異常ナシ					神奈川縣金沢町字野島	良好	昭和七年十一月十日 午前九時三十分

横空機密第
参謀長
調書
昭和七年十一月十日
横須賀海軍航空隊司令

記 事	將 來 ニ 關 ス ル 意 見	原 因	損傷ノ程度		事 故 ノ 概 要	航 空 ノ 目 的	者
			搭 乗 者	航 空 機			
ナシ	揮発油積入口改造ヲ要ス(顛末報告参照)	主タンク揮発油積入口蓋弛緩脱落或中ニ弛緩シ「ガソリン」ヲ漏セルモノト推定ス(顛末報告参照)	機体及左前脚尖端外側第一度乃至第二度ノ熱傷ヲ負フ	機体及左前脚尖端外側第一度乃至第二度ノ熱傷ヲ負フ	右留込り及飛行中ガソリンノ量減少セルヲ以テ不時飛行ノ注意ヲシテ相富量ヲ出シ水戸ニ墜落シテ全機炎上シ機体全焼セリ	標 縦 訓 練	

(備考)

- 一、本調書ハ飛行作業中ニ生起シタル航空機大破、人員ノ死傷其他重大ナル事項ニツキ調製スルモノトス
- 二、空中衝突、墜落其他事態重大ニシテ事後詳報ヲ要スルモノアリテハ其ノ摘要ノミヲ記載シ記事欄ニ其ノ旨記註スルモノトス

能金呂特務艦長三站負二
別表第一號様式(用紙美濃判)

搭	機 動 發		(體 體) 機		場	天 候	日	航 空 事 故 調 書	昭 和 七 年 二 月 十 一 日	能 金 呂 特 務 艦 長 三 站 負 二
	操 縦	使用時數	名 稱	名 稱						
経 歴 (操 縦 官 職)	分 解 点 檢 後	製 造 後	製 造 番 號 及 製 造 年 月 日	製 造 番 號 及 製 造 年 月 日	事 故 發 生 前 状 况	事 故 發 生 前 状 况	使 用 時 數	使 用 時 數	事 故 發 生 前 状 况	事 故 發 生 前 状 况
海 軍 大 尉 木 村 健 二	一 四 一 五 〇	一 八 一 五 〇 分	廣 一 五 三 號	廣 一 五 三 號	良 好	良 好	九 〇 一 五 分	九 〇 一 五 分	九 〇 一 五 分	九 〇 一 五 分
			口 一 七 五 〇 馬 力 發 動 機 三 型	口 一 七 五 〇 馬 力 發 動 機 三 型	愛 知 五 號	愛 知 五 號				
					一 〇 式 三 號 水 上 偵 察 機	一 〇 式 三 號 水 上 偵 察 機				
					吳 淞 沖	吳 淞 沖				

記	事	乗者		航空ノ目的	事故ノ概要	損傷ノ程度	原因	将来ニ関スル意見
		者	同官職氏名					
ナシ		乗者	伊武初					

(備考)

一 本調査ハ飛行作業中ニ生起シタル航空機大破人員死傷其他重大ナル事故ニ就キ調製スルモノトス

二 空中衝突、墜落其他事態重大ニシテ事後詳報ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ摘要ノミヲ記事欄ニ其ヒヨ記註スルモノトス

軍務司

能登呂機務局一六號
別表第一號様式(用紙美濃判)

航空事故調書
第一號
昭和七年六月二十一日

能登呂特務艦長三益貞三
昭和七年十一月一日
月九日

日

天候 氣象 晴

場所 直江津沖

機體 名 稱 一四式三發水上偵察機

製造番號及製造年月日 曼知七號

事故發生前狀況 良好

使用時數 製造後 四十六分三〇秒
分解點檢後 八十五分四七秒

名 稱 甲レノ四五〇馬力牽動機三型

製造番號及製造年月日 廣一四一號

事故發生前狀況 良好

使用時數 製造後 一九四分二〇分
分解點檢後 一〇〇分三五〇

操縦官職氏名 海軍大尉 堀家義一

縦経歴(操縦回数) 學生卒業昭和五年十一月飛行時數七〇時間

搭	機動發		(體氣)體機		場	天候	日
縦	操	使用時數	名	使用時數	場所	氣象	第一號
経歴(操縦回数)	官職氏名	製造後 分解點檢後	稱	製造後 分解點檢後			航空事故調書
學生卒業昭和五年十一月飛行時數七〇時間	海軍大尉 堀家義一	一九四分二〇分 一〇〇分三五〇	甲レノ四五〇馬力牽動機三型	四十六分三〇秒 八十五分四七秒	直江津沖	晴	昭和七年六月二十一日
			廣一四一號				能登呂特務艦長三益貞三
			良好				昭和七年十一月一日
							月九日

記	事	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	乘者	同乘者	事故発生前状況
								職氏名	歴	海軍軍艦隊司令部警務課長中田島崎平一
航空	事故	損傷程度	原	將來ニ関スル意見	記	事	ノ	ノ	ノ	ノ
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ

(備考)

一 本調査は飛行作業中ニ生起シタル航空機大破人員死傷其他重大ナル事故ニ就キ調査製スルモノトス

二 空中衝突、墜落其他事態重大ニシテ事後詳報ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ摘要ノミヲ記事欄ニ其旨記註スルモノトス